



猩々(しょうじょう)のあらすじ

金山(かねきんざん)の麓、揚子江のほとりに住む高風(こうふう)は親孝行の徳があり、市に出て酒を売れば富貴の身になるとの不思議な夢を見る。教えの通りにすると次第に富貴の身となった。もう一つ不思議なことは、市ごとに来て飲む者がいるが、いくら盃を重ねても顔色が変わらない。不審に思い名を尋ねると、海中に住む猩々という。高風は、今日は潯陽(しんよう)の江に行き、猩々を待とうと、月の美しい夜、菊花の酒を壺の中にたたえて待つ。やがて御酒を慕い、友に逢うことを楽しんで猩々が海中より浮かび出て酒を汲みかわす。月も星もくまなく輝き、葦の葉は笛の音のよう、波は鼓の調べのようである。猩々は舞を舞い、汲めども尽きぬ酒壺を与えて消える。新春にふさわしい目出度い曲です。

能管 玉野 宮夫 たまのみやお

大学時代に能管に興味を持ち、笛・太鼓の奥義を極め、昭和58年観世流名誉師範となる。郷土犬山にて囃子育成の指導にあたり、からくり人形「三番叟」に本式の所作を導入して、現在のからくり能「三番叟」を確立した。現在、能楽・拍楽座、座・からくりの代表を兼務して、無形文化の継承に力を注ぐ。「梅華能」犬山市大縣神社奉納。江南市市制50周年記念事業「薪能」上演。

薩摩琵琶 細川 華鶴子 ほそかわ かづこ

古典薩摩琵琶を地方で学び、現在は創作琵琶奏を坂田美子に師事。劇中伴奏朗読とのコラボ・平家物語の古典曲・わかりやすい現代曲など、軽妙なトークで精力的に活動している。2004年から「日本音楽集団」正会員として在籍。定期演奏会等に出演。近年、邦楽グループなほ(NANAHO)を結成して、音楽ジャンルを超えたユニット(古典からポップス)まで幅広い音楽に挑戦する。さらに能囃子(能管・小鼓・太鼓)を取り入れ、弾き語りと掛け声をマッチさせて古典曲に磨きをかけている。2010年5月チェコ・ブルノなどの4都市にて『SAKURA Ensemble』のメンバーとして好評を博す。

能楽・拍楽座一門



宗次ホールが贈る **ニューイヤースペシャル 2017** 新春をクラシック音楽で華やかに彩る3日間

1月 3日 (火)	11:00開演 10:30開場	¥1,000 (約60分/休憩なし)	女神が織りなす弦の世界～弦楽アンサンブルで迎える新春～ アンサンブルLaLa
	14:00開演 13:30開場	¥2,000 (約90分/休憩あり)	田中正也 × 佐藤卓史 第6回 超絶プレミアムピアノデュオ
1月 4日 (水)	11:00開演 10:30開場	¥1,000 (約60分/休憩なし)	新春に津軽三味線 杉山大祐 (津軽三味線) 近藤一輝 (ピアノ)
	14:00開演 13:30開場	¥2,000 (約90分/休憩あり)	新年を祝いアサビールで乾杯! ニューイヤーコンサート 名古屋ヴィルトゥオーゼン
1月 5日 (木)	11:00開演 10:30開場	¥1,000 (約60分/休憩なし)	新年をオペラと共に 魁—sakigake—
	14:00開演 13:30開場	¥2,000 (約90分/休憩あり)	新春に贈る能と薩摩琵琶 玉野宮夫 (能管) 細川華鶴子 (薩摩五弦琵琶) 能楽・拍楽座一門

※詳しくは、宗次ホールチケットセンター(052-265-1718)までお問合せ下さい。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

■交通アクセス
地下鉄栄駅⑫ 番出口より東へ徒歩4分




宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~18:00
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)